

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54
大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
TEL 06-645-2056
発行責任者 堀 口 俊 一

あけましておめでとうございます

地方会長 三 浦 武 夫

旧年は例年のごとく、急ぎ足で過ぎ去ってしまいました。しかし産業衛生学会にとりましては幾つかのエポックが在りました。その中でも8月末の臨時総会で、従来の産業医協議会と産業看護研究会がいずれも産業医部会と産業看護部会として定款の中に位置付けられ、又新しく学会の専門医制度が生まれたことでした。これからの日本の労働衛生を担う、学会の構成要素である産業医と、パラメディカルの一つである産業看護職がそれぞれ一つの纏まりのある部会として認知されたことは、その存在をクローズアップするものであり、その活動の責任を明確にするものと考えられ、会員の皆さんはこの新年より大いに期待をしておられるものと思われま

す。他方、専門産業医制度については未だ不透明な部分もあり、会員の皆様の明快なイメージが必ずしもあるとは思われない。

昨年の4月から日本医師会が認定産業医制度を逸早く発足させ、大阪府では既に約2000人の認定産業医が出来上がっている。今も医師のライセンスがあれば誰でも産業医になれるが、日本医師会では産業医になることを希望する人には所定の専門研修を終えると産業医になる資格を認定すると言うことです。あまりにも当然のことがようやく実現したと言うことです。但しこれは法律で定めた資格ではない。なお医師会では学会の専門産業医をひとつの学位てきなものと見る見方がとられている。いずれ産業医を配置する義務が従業員30人の事業場にまで広がることが予定されているとき、労働省、日本医師会、産業衛生学会、等が十分話し合うことが必要な時期にきていると思われる。本年も大いに頑張りましょう。

日本産業衛生学会近畿地方会活性化 に関するアンケートについて

日本産業衛生学会近畿地方会では、1991年秋の評議員会において、会の一層活発な活動を推進するために会員（日本産業衛生学会定款では日本産業衛生学会会員は自動的に同会地方会員となると定められている）、準会員の全員を対象にして日本産業衛生学会近畿地方会活性化に関するアンケートを行なうことになりました。

近畿地方会の一層の発展をはかるために裏側の質問についても洩れなくご回答（該当する項に○印をつけるか、（ ）内に記入）のうえ、1992年1月20日までにぜひご返送ください。

日仏産業医交流会について

松下産業衛生科学センター 山口 恭 平

フランスのルーアン大学カイヤー教授を団長とする男性9名、女性8名計17名のフランス産業医団が10月21日から23日にかけて開催された第11回産業医科大学国際シン

ポジウム、第3回産業保健における教育訓練に関する国際会議に参加後、中国、近畿、東海、関東地区を訪問し、各地区で催された日仏産業医交流会に出席、10月31日帰国された。

近畿地区には10月26日（土）午前より10月28日（月）午後3時までの滞在で、週末を奈良および京都の観光を楽しみ、土曜日の夜はびわ湖観光船ビアンカ上のパーティー、日曜日は松下電器健康保険組合保養施設・千里丘保健センターでの交流会にて、滋賀県医師会の方々、および三浦武夫先生をはじめとする近畿地区の先生方と懇談、情報交換など親交を深められた。

月曜日は松下電器産業(株)テレビ事業部の工場見学と質疑応答が行われた。入社時健康診断、労災補償の問題などにつき熱心な質問を受けた。組み立てラインの女子従業員のユニフォームがエレガントだとフランス人から感心されたりした。英語で充分に交流でき、フランス人の本音が意外と日本に類似していると思ったりして、まことに有意義な会であった。

☆平成4(1992)年度第32回近畿産業衛生学会の学会長 近畿健康管理センター 木村真次先生に決まる。

案ずるより生むが易しと云えたのだろうか ……第31回近畿産業衛生学会を終えて

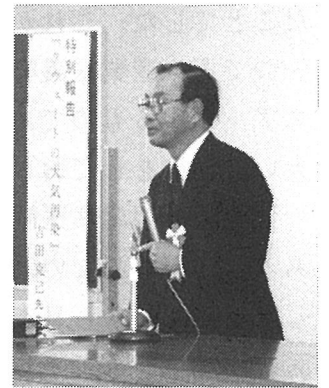
兵庫医科大学公衆衛生学教室 塚 本 利 之

産業衛生領域の研究など全く手がけておりませんのに学会長をお引き受けして、臆面のなさを恥らい乍ら帰りの京阪電車で揺られつつ早速に思案に耽ったことを思い出します。

それから大袈裟な様ですが折にふれて思い悩むことが屢々でした。

全国学会と地方学会の異同を生意気にも自問自答し、羞恥に苛まれつつ恒例を破って特別講演は誰方に、どのような内容でお願いすべきか等々貧弱な思考の悶えを重ねて参りました。幸い私の身近かには立派な方々がおられて色々な御提言や御理解ある参画が得られ学会の企画が組み立てられました。更に学会の運営となりますと小人数の教室員では如何様な努力も手一杯となり、神戸大公衆衛生学教室の方々の惜しみなき御協力に支えられて学会は滞りなく終らせて頂けたわけです。本当に多くの方々に感謝しなければなりません。

学会は、130人余の方が参加され、28題の発表に時に活潑な討論が交わされる状況でありました。特別報告では、吉田先生のクエートでの貴重な御体験が深き感興を呼ぶものでありまして、ミニサイズながらシンポジウムも精神衛生面を啓発する処の多き内容と云わせて頂きたいものです。また産業衛生の受け皿である中小企業経営者側の発言である特別講演も謙虚に内省すべき縁となればと願ったものであります。こんな自負とは裏腹に会員の皆様の付託に充分沿い得たのか、単なる一人よがりに過ぎぬのではないかの危惧の念が去来してもう暫くは離れようもありません。懇親会は、秋の陽の釣瓶落しが禍してか家路を急ぐ方が多く思いの外御参加が少なく残念でありました。



＜研究会のお知らせ＞

第26回頸肩腕障害研究会

日 時：平成4年1月25日(土)
場 所：大阪市立大学医学部環境衛生学教室図書室
テーマ：リハビリ勤務について“演題募集中”
連絡先：菰池義彦（住友病院産業衛生研究室）
〒530 大阪市北区中之島5-2-2

腰 痛 研 究 会

日 時：平成4年1月18日(土) 14:00～17:00
場 所：関西医科大学セミナー室（1号館1階）
テーマ：1.腰痛研究の動向（報告）
2.予防対策のすすめ方（演題募集）
連絡先：関西医科大学衛生学教室 徳永力雄
☎ 06-992-1001(内 2500) FAX 06-992-3522

平成3年度第2回産業看護研究会

日 時：平成4年2月29日(土) 13時30分～16時30分
場 所：安倍乃荘（JR天王寺宿泊所）
講 師：岡山 明（滋賀医科大学）
テーマ：健康教育の進め方とその評価法について考える
—高脂血症を例にして—
連絡先：上田美代子
近畿健康管理センター産業保健栄養指導室
〒532 大阪市淀川区西中島5-13-9
新大阪森ビル3F

＜産業衛生学会からのお知らせ＞

第65回日本産業衛生学会

会 期：平成4年3月29日(日)、30日(月)、31日(火)、4月1日(水)
会 場：徳島大学蔵本キャンパス
講演集原稿締切日：平成4年1月11日(土)
連絡先：〒770 徳島市蔵本町3丁目18-15
徳島大学医学部公衆衛生学教室
第65回日本産業衛生学会・企画運営委員会事務局
☎ 0886-31-3111 内線 2272

地方会事務局からのお願い

平成3年度会費の振り込みの際に所属名、住所のみで会員名が記載されていないものがあります。所属名は以下のとおりです。お心当たりの方は事務局まで文書でご連絡下さい。

福田金属箔粉工業株式会社、積水化学工業株式会社尼崎工場、明治生命健康保険組合大阪診療所、日立造船健康保険組合、朝日新聞健康保険組合、三菱重工業株式会社神戸造船所（2名分）、日本電池株式会社、全日空大阪空港支店管理室健康管理センター、遠藤病院、南海電気鉄道株式会社、鐘淵化学工業株式会社高砂工業所（2名分）、塩野義製薬株式会社製造部、日本電気硝子株式会社能登川工場、コニカ健康保険組合、朝日新聞大阪本社診療所、ライオン株式会社大阪本店健康管理室、松浦診療所、以上17所屬の方々です。

かねてより近畿地方会会費のお振込の際には、会員名のご記入（振込用紙の表裏どちらでも可）をお願いしております。経理担当の方にもお伝え下さい。今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。